

(四倉地区まちづくり検討会)  
第2回ワーキンググループ会議 (4 KuLabo③)  
要旨

■ 4 KuLabo③

商店街にぎわいづくり検討ワーキンググループ会議

■ 日 時

令和4年5月17日(火) 18:00~19:25

■ 場 所

四倉町商工会館 大会議室



■ 会議の流れ

- 1 開会
- 2 挨拶 (都市計画課長)
- 3 議事
  - 市街地再生整備基本方針に基づく施策の検討について  
(商店街のにぎわいづくりについて)
    - ・別紙「説明資料」に基づき、各事務局がWGの役割や今後の進め方、施策案のたたき台などを説明し、その後、意見交換が行われました。
- 4 その他
  - ・次回のWGについて事務局より説明がありました。
- 5 閉会

■ 意見交換の概要(要旨) ○: 関係団体委員 ⇒: 事務局・行政委員

- 空き地空き家の活用については、現在、創業される方もいるがほとんどが場所を決めており、テナント出店となると先立つものも大きいため、ハードルは高いと思います。空き店舗でも新たな設備投資などがあり、簡単に利活用することは難しいと思います。商店街通りは、現状、歩こうとしても車が路駐してあり、歩きにくく、また、昔ながらの商店街なので、歩ける商店街にならないといけないと思います。
- 四倉地区も高齢化率が高いため、商店街の活性化にあたっては、どの年代をターゲットにするのか、また、既存店舗や若い方の協力体制が重要だと思います。  
⇒ 高齢化率が高いという話がありましたが、地区内でも移動の足がなく街中に出て来られない高齢者もいるのではと思います。今後、こういった移動手段をどう確保していくのかなども考えていきたいと思います。
- にぎわいづくりにあたっては、地区内の方なのか、地区外・市外の方を呼び込みたいのかなど、誰にどう利用して欲しいのかを決めた方がいいのではないかと思います。
- たたき台で示された歩車共存道路など歩きやすい空間づくりはいいと思います。四倉は海を利用する方が多く、市内の中でも比較的平坦であり、自転車や電動キックボードなどを利活用することで海への流れ・連携ができるのではないかと思います。

- 現状として四倉駅から街中を通って道の駅まで行く動線には駐車場がありません。
- 本町通り（商店街通り）は、側溝蓋がなかったり壊れていたり整備されておらず、市街地を再生する以前に、安全に通行できる道路として欲しいと思います。  
⇒ 歩者共存道路など道路を活用した新たな取り組みを進めていく場合には、側溝の整備や補修などもあわせて対応していきたいと思います。
- 街中に立ち寄れるような居場所があまりないため、気軽に立ち寄れるような場所が作れないかと思っています。歩きたくなる仕掛けとして、本町通りに100m刻みで目盛を入れてみてはと思っています。また、駅前通りのヤシの木を活用し、街中から海までの動線上に植えて、街中へ誘導してもよいのではと思っています。
- まちづくりの担い手・主体は誰なのか、店舗やイベントをやるにしても何をやるのかをしっかりと決めてから進めていくことが大切だと思います。  
⇒ プレイヤーと地域の方がどのように連携しながら進めていくのかなども検討していきたいと思います。
- 商店街は、現状で満足しているが、なぜ商店街のにぎわいを再生することとなったのか。  
⇒ 市では、人口減少や高齢化などを踏まえ、駅などの地域の拠点性を高め、居住や都市機能などの誘導を図りながら、コンパクトなまちづくりに向けた取り組みを進めております。そこで、将来にわたり四倉地区を維持していくために、これまで地域の方々との話し合いを重ね、令和3年5月に「四倉地区市街地再生基本方針」を策定いたしました。この方針の具現化に向けた具体的な施策を検討するため、四倉地区まちづくり検討会の下部組織として本WGを設置したものであります。